

カンディハウスの製品を
お買い上げの方へ

User's Guide

ユーザーズガイド

ともにつくる暮らし。カンディハウス。





認定番号 JFA-00018

このマークは、(一社)日本家具産業振興会の定める「国産家具基準」「品質基準」「室内環境基準」等の要件を満たした製品、および事業者であることを認定します。



無断転用を禁ず

カンディハウスはPL賠償制度付共済に加入しております。

一般社団法人 日本家具産業振興会

このたびはカンディハウス製品を
お買い上げいただきまして、
誠にありがとうございます。

このユーザーズガイドでは、
製品を長くお使いいただくために、
「家具 使用上のご注意」と
「素材別 お取り扱い上のご注意、お手入れ方法」に
ついてご案内しております。

製品をご使用になる前に必ずお読みのうえ、
保管くださいますようお願いいたします。

目次

家具 使用上のご注意

 椅子・ソファー	7
---	---

フローリング保護材について

 テーブル・デスク類	10
---	----

 キャビネット類	12
---	----

表示について



注意

人体に危険をおよぼす
原因となることを
表示しています。



警告

人体に危害がおよんだり、
物的損害の原因となることを
表示しています。

素材別 お取り扱い上のご注意、お手入れ方法

1 木材(ウレタン塗装品).....	16
--------------------	----

2 木材(オイル仕上げ品).....	18
--------------------	----

オイル仕上げ用メンテナンスキットによるメンテナンス

3 レザー(革).....	20
---------------	----

カンディハウスのレザーコレクションについて

お取り扱い上のご注意(レザーコレクション共通)

① GR(アニリンレザー)	21
---------------------	----

② BQ(セミアニリンレザー)	22
-----------------------	----

レザーケアキットによるビフォーケア&メンテナンス

③ KS、KP、MG、RK、MR(ピグメントレザー)	24
----------------------------------	----

レザークリーナーによるメンテナンス

4 ファブリック(布張地).....	25
--------------------	----

5 パールトーン®加工(撥水・防汚加工)されたファブリック.....	26
------------------------------------	----

6 クッション	27
---------------	----

7 プラスチック(アクリル樹脂・ABS樹脂)	28
------------------------------	----

8 メラミン	29
--------------	----

9 リノリウム.....	30
--------------	----

10 大理石	31
--------------	----



家具 使用上のご注意

椅子・ソファ

設置場所について

- 必ず平らな場所に設置してください。凸凹や段差のある床など不安定な状態で使用すると、椅子やソファの変形や破損、また床面を傷付けたり、転倒の原因となります。
- アジャスターの付いたソファは、ご使用になる床面に合わせてアジャスターを調整し水平を確保してください。アジャスターを調整せずにがたつきのある状態で使用続けると、変形し破損するおそれがあります。また、使用場所を移動した場合は、再度調整してください。
- 直射日光、特に西日などを避けて設置してください。直射日光が長時間当たり続けると、木材は退色や変色、割れや変形を起こします。カーテンなどで直接日光が当たらないよう配慮してください。
- 冷暖房器具の吹出口付近に置かないでください。急激な乾燥や湿度の変化により、木材の割れや反りなどの変形が生じることがあります。
- 換気・通気に注意し、高温多湿で、かつ通気のない室内での長時間の使用はお控えください。カビやダニが発生しやすくなり、家具を傷めるだけでなくお客様の健康を害するおそれがあります。
- 極端な高温や過乾燥に注意してください。乾燥しすぎると木材や革は、ひび割れを起こします。

移動時のご注意

- 床の上を引きずって移動しないでください。床面の損傷や、無理な力が加わることで椅子やソファが破損する原因となります。
- 動かすときは、木部同士が当たらないよう注意してください。塗装落ち、打ち傷などの原因となります。
- 移動した場合は、座板や脚の固定用ネジ類が緩んでいないか確認し、緩みがある場合にはしっかりと締め直してください。

使用上のご注意

- 座る目的以外には使用しないでください。特に肘や背もたれの上に腰掛けたり、乗ったりしないでください。転倒によりケガをしたり、椅子が破損する原因になります。
- 椅子やソファーの上で立ったり、とんだり、踏み台に使ったり、不安定な姿勢で腰掛けたりしないでください。バランスを崩し倒れてケガをするばかりでなく、椅子やソファーが破損する原因となります。
- 座った状態で椅子を傾けないでください。後脚のみに体重をかけて前脚を浮かせたり、座面以外の部分に腰掛けると、椅子が破損したり倒れてケガをするおそれがあります。
- 回転機能のある椅子では、できるだけ椅子の中央に座ってください。座面の端部に座ると不安定となり、転倒や椅子の破損の原因となります。
- キャスター付きの椅子は、その上に立ったり、激しく動かしたり、押して遊んだりしないでください。転倒によりケガをされたり、ほかのものを壊したりするおそれがあります。
- 安全のため、家具が破損・変形した場合は使用しないでください。
- ソファーの肘などに直接熱いものや濡れたものを置かないでください。また、ビニールなどで長時間覆って使用しないでください。塗装の変色や剥がれの原因となります。
- 折りたたみ椅子など、形状が変化する家具の操作では、手を挟まないように十分ご注意ください。



保守点検について

- 座板や脚の固定用ネジ類が緩んでいないかときどき確認し、緩みがある場合にはしっかりと締め直してください。緩んだまま使用すると椅子やソファーが壊れて、ケガにつながる可能性があります。また、移動した場合は再度ネジ類を確認してください。

フローリング保護材について

フローリングやタイル・石などの平滑な床材を保護するため、「保護材」を添付しています。

- 「保護材」は、カーペットや畳などの床材には不向きですので使用しないでください。
- 床暖房のフローリングには使用しないでください。熱で接着剤が溶け、家具や床面が汚れることがあります。
- 貼り付ける部分や床面の汚れ、油分をきれいに取り除き乾燥させてから、しっかりと貼ってください。
- ご使用中に「保護材」が剥がれ、床面が汚れたり傷が付いたりすることがあります。
- 使い切れず残った「保護材」は、直射日光の当たらない場所に保管してください。
- 「保護材」は消耗品です。お取り替えの際は、販売店または最寄りのホームセンターにて代替品をお買い求めください。

テーブル・デスク類

設置場所について

- 必ず平らな場所に設置してください。凸凹や段差のある床など不安定な状態で使用すると、テーブルやデスクの変形や破損、また床面を傷付ける原因となります。
- アジャスターの付いたテーブル・デスクは、ご使用になる床面に合わせてアジャスターを調整し水平を確保してください。アジャスターを調整せずにがたつきのある状態で使用を続けると、変形し破損するおそれがあります。使用場所を移動した場合は、再度調整してください。
- 直射日光、特に西日などを避けて設置してください。直射日光が長時間当たり続けると、木材は退色や変色、割れや変形を起こします。カーテンなどで直接日光が当たらないよう配慮してください。
- 冷暖房器具の吹出口付近に置かないでください。急激な乾燥や湿度の変化により、木材の割れや反りなどの変形が生じることがあります。
- 換気・通気に注意し、高温多湿で、かつ通気のない室内での長時間の使用はお控えください。カビやダニが発生しやすくなり、家具を傷めるだけでなくお客さまの健康を害するおそれがあります。
- 極端な高温や過乾燥に注意してください。乾燥しすぎると木材や革は、ひび割れを起こします。

移動時のご注意

- 床の上を引きずって移動しないでください。床面の損傷や、無理な力が加わるによりテーブル・デスクが破損する原因となります。
- 動かすときは、木部同士が当たらないよう注意してください。塗装落ち、打ち傷などの原因となります。
- 移動した場合は、脚の固定用ネジが緩んでいないか確認し、緩みがある場合にはしっかりと締め直してください。

使用上のご注意

- テーブル・デスクの上で立ったり、とんだり、踏み台に使ったり、腰掛けたりしないでください。バランスを崩し倒れてケガをするおそれがあるばかりでなく、テーブル・デスクが破損する原因となります。
- 安全のため、家具が破損・変形した場合は使用しないでください。
- テーブル・デスクの上に直接熱いものや濡れたものを置かないでください。天板表面の劣化や退色・変色の原因となります。天板に直接熱や水分が伝わらないように、鍋敷きやコースター、ランチョンマットなどをお使いください。
- 天板を、ビニールなどで長時間覆って使用しないでください。塗装の変色や剥がれの原因となります。
- エクステンションテーブルなど、形状が変化するテーブル・デスクの操作では、手を挟まないように十分ご注意ください。
- エクステンションテーブルの上にもものをのせたまま、伸縮操作をしないでください。のせたものが倒れたり床に落ちたりして、テーブルや床面を傷付けるおそれがあります。



保守点検について

- 脚の固定用ネジ類が緩んでいないかときどき確認し、緩みがある場合にはしっかりと締め直してください。緩んだまま使用するとテーブル・デスクが壊れて、ケガにつながる可能性があります。また、移動した場合は再度ネジ類を確認してください。

キャビネット類

設置場所について

- 必ず平らな場所に設置してください。凸凹や段差のある床で傾いたまま使用すると、強度が低くなって扉の開閉や引き出しの動きに支障をきたし、キャビネットが壊れてケガをしたり、床面を傷付ける原因となります。
- アジャスターの付いたキャビネット類は、ご使用になる床面に合わせてアジャスターを調整し水平を確保してください。アジャスターを調整せずにがたつきのある状態で使用を続けると、変形し破損するおそれがあります。使用場所を移動した場合は、再度調整してください。
- 直射日光、特に西日などを避けて設置してください。直射日光が長時間当たり続けると、木材は退色や変色、割れや変形を起こします。カーテンなどで直接日光が当たらないよう配慮してください。
- 冷暖房器具の吹出口付近に置かないでください。急激な乾燥や湿度の変化により、木材の割れや反りなどの変形が生じることがあります。
- 換気・通気に注意し、高温多湿で、かつ通気のない室内での長時間の使用はお控えください。カビやダニが発生しやすくなり、家具を傷めるだけでなくお客さまの健康を害するおそれがあります。
- 極端な高温や過乾燥に注意してください。乾燥しすぎると、木材はひび割れを起こします。



キャビネットの固定について

- キャビネットは建物の壁・床・天井などに、固定用金物や固定部材でしっかりと固定してください。地震などでキャビネットが倒れ、ケガをするおそれがあります。

設置上のご注意

- コンセントプラグ付きのキャビネットは、コンセントを確実に差し込んでください。不十分ですと火災の原因になります。
- 照明器具付きのキャビネットの電球は、決められたもの以外は使用しないでください。火災の原因になります。また、点灯中や消灯直後の電球や器具に手を触れないでください。やけどをするおそれがあります。
- 照明器具付きのキャビネットは、通気口を壁や天井から離して、塞がないようにしてください。火災の原因となります。
- 取り外しのできる棚は、棚受け金具を確実に取り付けてください。取り付けが不十分な場合、棚板が外れて物が落ち、破損したりケガをするおそれがあります。
- キャビネットの上にものを置く際には落下の危険性がありますので、十分にご注意ください。

移動時のご注意

- 床の上を引きずって移動しないでください。床面の損傷や、無理な力が加わることでキャビネットが破損する原因となります。
- 組み立て式のキャビネットを移動する際には、必ず解体してから動かしてください。
- 動かすときは、中のものを出してから行ってください。
- 動かすときは、木部同士が当たらないよう注意してください。塗装落ち、打ち傷などの原因となります。
- 移動した場合は、連結固定用ネジ類が緩んでいないか確認し、緩みがある場合にはしっかりと締め直してください。

使用上のご注意

- 引き出しや扉などに乗ったり、ぶら下がったり、無理な力で引っ張ったりしないでください。キャビネットが倒れてケガをするおそれがあります。
- 扉や引き出しを同時にいくつも開けたり、引き出したりしないでください。重心が前に移り、転倒するおそれがあります。
- キャビネットの安定性を確保するため、上部には重いものをのせないでください。
- 引き出しをいっぱい強く引き出すと、抜け落ちてケガをするおそれがあります。
- 安全のため、キャビネットが破損・変形した場合は使用しないでください。
- キャビネットに直接熱いものや濡れたものを置かないでください。また、ビニールなどで長時間覆って使用しないでください。塗装の変色や剥がれの原因となります。



保守点検について

- 丁番や脚取り付け金物などの固定用ネジ類が緩んでいないかときどき確認し、緩みがある場合にはしっかりと締め直してください。緩んだまま使用するとキャビネットが壊れて、ケガにつながる可能性があります。また、移動した場合は再度ネジ類を確認してください。
- 丁番やレールには、衣類などの収納品が触れないようにしてください。引き込まれて破損するおそれがあります。

素材別

**お取り扱い上のご注意、
お手入れ方法**

1 木材（ウレタン塗装品）

お取り扱い上のご注意

- 直射日光、特に西日などを避けてください。直射日光が長時間当たり続けると、木材は退色や変色、割れや変形を起こします。カーテンなどで直接日光が当たらないよう配慮してください。
- 冷暖房器具の吹出口付近に置かないでください。急激な乾燥や湿度の変化により、木材の割れや反りなどの変形が生じることがあります。
- 木製天板の上に、直接熱いものや濡れたものを置かないでください。熱や水分により、塗装面や木部が変色や変形することがあります。製品に直接熱や水分が伝わらないように、鍋敷きやコースター、ランチョンマットなどをお使いください。
- 底面がざらついた食器などを直接のせないでください。塗装面や木部が損傷することがあります。
- 硬いもので擦らないでください。すり傷などの原因になります。
- 化学雑巾を長い間接触させたままにしておくと、変色したり表面が剥げたりすることがあります。
- ベンジン、アルコール、シンナーなど揮発性のあるものの使用は避けてください。変色の原因となります。

日常のお手入れ

- 日常のお手入れは、やわらかい布で軽く乾拭きしてください。布を強く擦り付けると、塵や埃が木目に入り込み、付着汚れの原因となります。

汚れてしまったら

- 汚れた場合は水に浸して固く絞った布で拭き、その後やわらかい布で乾拭きしてください。
- 油汚れなどが目立つ場合は、中性洗剤をぬるま湯で100倍以上に薄めた中に布を浸し、固く絞ってから拭いてください。続いて、水に浸して絞った布で洗剤をよく拭き取り、最後にやわらかい布で乾拭きしてください。

2 木材（オイル仕上げ品）

※ 塗装色OFNはオイル仕上げです。一般的な家具塗装（ウレタン塗装）製品とはお取り扱いが異なります。

お取り扱い上のご注意

- 定期的なメンテナンスが必要です。ご使用の環境に応じた頻度で、オイルメンテナンスを行うことをおすすめします。当社推奨のオイルワックスでメンテナンスを行ってください。
- 冬季など乾燥しやすい時期には、無垢材テーブルの木口部分などに頻繁にオイルワックスを塗布することにより、乾燥を原因とするひび割れなどの破損を予防することができます。
- 直射日光、特に西日などを避けてください。直射日光が長時間当たり続けると、木材は退色や変色、割れや変形を起こします。カーテンなどで直接日光が当たらないよう配慮してください。
- エアコンやストーブの送風を直接製品に当てないでください。オイル仕上げには、ほとんど塗膜がありません。急激な乾燥や湿度変化により、木材の割れや反りなどの変形が生じることがあります。
- 木製天板の上に、直接熱いものや濡れたものを置かないでください。熱や水分により、塗装面や木部が変色や変形することがあります。製品に直接熱や水分が伝わらないように鍋敷きやコースター、ランチョンマットなどをお使いください。
- 底面がざらついた食器などを直接のせないでください。天板面や木部が損傷することがあります。
- 硬いもので擦らないでください。すり傷などの原因になります。

日常のお手入れ

- やわらかい布で軽く乾拭きしてください。

汚れてしまったら

- 汚れた場合は水に浸して固く絞った布で拭き、その後すみやかにやわらかい布で乾拭きしてください。濡れたまま放置すると、変色や変形することがあります。
- 目立った汚れは、中性洗剤をぬるま湯で100倍以上に薄めた中に布を浸し、固く絞ってから拭いてください。続いて、水に浸して絞った布で洗剤をよく拭き取り、最後にやわらかい布でしっかりと乾拭きしてください。

メンテナンス用オイルワックス [ビボセット]によるメンテナンス

オイル仕上げ用メンテナンスキットとして、リボス社製「ビボセット」を推奨しています。天板面に艶や潤いがなくなり、カサついてきたと感じられましたら、オイルメンテナンスを行うことをおすすめします。



セット内容／オイルワックス 50cc×2瓶、
研磨用スポンジ、クロス、取扱説明書



警告

塗装や拭き取りに使用したウエス・布など塗装用具は、放置しておくと自然発火の危険があります。使用後は必ず、水に浸してから処分してください。（塗装面や塗料自体から発火することはありません。）

※必ず取扱説明書の使用方法・注意事項に従って、メンテナンスを行ってください。
ご使用方法を誤ると事故につながります。

3 レザー（革）

レザーコレクションについて

カンディハウスのレザーコレクションは仕上げ方法により、以下の3タイプに分類されます。

- ① GR（銀付き・アニリンレザー）
※1 ※3
- ② BQ（銀付き・セミアニリンレザー）
※1 ※4
- ③ KS、KP、MG、RK（銀付き・ピグメントレザー）
※1 ※5
- MR（銀スリ・ピグメントレザー）
※2 ※5

タイプによって、お手入れ方法が変わりますのでご注意ください。

※1 銀付き：別称フルグレインレザー。銀面（動物の皮の表皮を削ったすぐ下の層）を残した革。

※2 銀スリ：別称コレクトレザー、ライトバフ。銀面をサンドペーパーなどで薄く削った革。

※3 アニリンレザー：染料のみで仕上げた革。

※4 セミアニリンレザー：染料が主体ながらも、顔料も薄く塗装した仕上げの革。

※5 ピグメントレザー：顔料だけを塗装した仕上げの革。

お取り扱い上のご注意（レザーコレクション共通）

- 高温な場所や直射日光を避けてください。直射日光の紫外線は、変色や退色・ひび割れを起こす原因となります。カーテンなどにより直接日光が当たらないよう配慮してください。
- 過乾燥に注意してください。乾燥しすぎると革表面の荒れやひび割れを起こします。エアコンやストーブなどの送風が直接当たらないように注意してください。
- 水に濡らさないでください。水に濡れると色落ち・シミの原因になり、衣類などを汚すことがあります。また、乾く段階で水分と一緒に油分が抜けて固くなる場合があります。水に濡らした場合は、すみやかに乾いたやわらかい布で水気を取り陰干ししてください。
- 靴クリームや溶剤（ベンジン・アルコール・シンナーなど）は使用しないでください。
- 整髪料も革を傷めます。付着した場合はていねいに拭き取ってください。
- ビニール製品などを長時間重ねたままにしておくと、変色やカビの原因となりますので、ご注意ください。

① GR (アニリンレザー)

GRは、最高品質の原皮から生産されるフルグレイン・アニリンレザーです。しっかりとした厚みを持ちながらやわらかく、重厚で上質な革本来の風合いと格別な触感を備えています。塗装膜がないため、ナチュラルマーク（原皮にもともとあった傷や脂肪線、シミなど）が表面に残っています。これはナチュラル・ビューティ・スポットとも呼ばれ、フルグレインレザーならではの表情として珍重されています。GRがもつ革に触れたときの暖かさや手触り、使い込むことによって深まる色合いや艶の変化は、アニリンレザー特有のものですが、反面、耐水性や耐光性に劣ることにもつながります。色落ちしやすく、シミや色褪せしやすい非常にデリケートな革です。引っかき傷やすり傷が付きやすいのでご注意ください。このような特質を十分理解したうえで、GRをご使用ください。

日常のお手入れ

- 乾いたやわらかい布で、軽く乾拭きしてください。布を強く擦り付けると、塵や埃が革の毛穴に入り込み、付着汚れの原因となります。
- 定期的に、やわらかなブラシを付けた掃除機で塵や埃を除去してください。
- 水拭きや、油分を含んだ化学雑巾の使用はおやめください。シミや変色の原因となります。

汚れてしまったら

- 塗装膜がないため、水拭きはシミの原因となり油分も失われます。「乾拭き」を基本としてください。
- やむをえず水拭きを行なう場合は、ぬるま湯にやわらかい布を浸し、拭きムラができないくらい固く絞って汚れを拭き取ってください。その後、乾いたやわらかい布でやさしく水気を拭き取ってください。
- 乾燥後、革表面のひび割れを防ぐため、当社推奨のレザーケアキットでメンテナンスすることをおすすめします。

② BQ (セミアニリンレザー)

BQは、染色加工の後にごく薄く表面塗装を施した、フルグレイン・セミアニリンレザーです。アニリンレザーのように肌触りがよく、とてもやわらかな状態を保ちつつも、ごく薄いウレタン塗装膜によって革の表面が保護されています。保護膜が薄いので、ナチュラルマーク（原皮にもともとあった傷や脂肪線、シミなど）が表面に残っています。一定の耐久性やメンテナンス性がありますが、完全にコーティングされているわけではなく、色落ち・色褪せはアニリンレザー同様に起こります。また、引っかかり傷やすり傷が付きやすいのでご注意ください。

日常のお手入れ

- 乾いたやわらかい布で、軽く乾拭きしてください。布を強く擦り付けると、塵や埃が革の毛穴に入り込み、付着汚れの原因となります。
- 定期的に、やわらかなブラシを付けた掃除機で塵や埃を除去してください。
- 油分を含んだ化学雑巾は使用しないでください。シミや変色の原因となります。

汚れてしまったら

- むるま湯にやわらかい布を浸し、拭きムラができないくらい固く絞って汚れを拭き取ってください。その後、乾いたやわらかい布でやさしく水気を拭き取ってください。
- 水拭きは頻繁には行わず、多くとも3カ月に1回程度としてください。
- 乾燥後、革表面のひび割れを防ぐため、当社推奨のレザーケアキットでメンテナンスすることをおすすめします。

レザーケアキットによる ビフォーケア&メンテナンス

レザーマスター[レザーケアキット]は、革の風合いを損なわずにクリーニングと保護ができるクリーナーと、革に油分と水分を与えながら汚れを防止するプロテクションクリームのセットです。

革製品をご使用になる前に、プロテクションクリームによるビフォーケアを行なうことにより、日常の一般的な汚れの付着を軽減させることができます。



ユニタス レザーマスター
レザーケアキット



注意

必ず目立たない部分で試し、変色や色ムラ、質感の変化を確認したうえで、メンテナンスを行ってください。



注意

塗装膜のあるビグメントレザー KS・KP・MG・RK・MRには有効ではありません。
また、スエード・ヌバック・ペロアのような起毛素材には使用できません。



注意

メンテナンス後、完全に乾く前にご使用になると色落ちすることがあります。
十分に乾燥させてからご使用ください。乾燥後に、乾いたやわらかい布で全体を乾拭きしてからお使いになることをおすすめします。

※詳しいご使用方法は取扱説明書をご覧ください。

③ KS、KP、MG、RK、MR(ピグメントレザー)

- KS、MG、RK、MRは、原皮(動物の皮)をなめした後に顔料で表面塗装を行うピグメントレザーです。家具用の革としては一般的な仕上げ方法です。表面にしっかりした塗膜をつくるため、原皮の傷や色ムラなどもカバーされ、比較的均一な質感と色が得られています。汚れも落としやすく、丈夫で実用性の高い革です。反面、革本来の風合いや触感は少なくなります。
- KPはナチュラルシュリンク加工(シボ加工)と粒子の細かい顔料仕上げです。セミアニリンレザー・BQ同様に自然なシボとナチュラルマークが現われます。手触りの良さとメンテナンス性を両立させたレザーです。

日常のお手入れ

- 乾いたやわらかい布で、軽く乾拭きしてください。布を強く擦り付けると、塵や埃が革の毛穴に入り込み、付着汚れの原因となります。
- 定期的に、やわらかなブラシを付けた掃除機で塵や埃を除去してください。
- 油分を含んだ化学雑巾は使用しないでください。シミや変色の原因となります。

汚れてしまったら

- むるま湯にやわらかい布を浸し、固く絞って汚れを拭き取ってください。その後、乾いたやわらかい布でやさしく水気を拭き取ってください。
- 水だけで落ちない汚れには、当社推奨のレザークリーナーをご使用ください。但し常用しないようご注意ください。

レザークリーナーによるメンテナンス

ミドリオートレザークリーナーは、柑橘類に含まれる天然の精油を主成分とするピグメントレザー専用のクリーナーです。

ミドリオートレザークリーナー LEATHER CLEANER(230ml)



注意

GR(アニリン)・BQ(セミアニリンレザー)には使用できません。また、スエード・ヌバック・ベロアのような起毛素材にも使用できません。



注意

ご使用後の拭き取りは確実に行ってください。クリーナー成分が残ったまま放置すると、シミや変色の原因となります。

※ご使用方法は、ボトル裏面記載の「使用方法」をご覧ください。

4 ファブリック(布張地)

お取り扱い上のご注意

- 直射日光、特に西日などを避けてください。直射日光の紫外線は変色や退色を起こす原因となります。カーテンなどにより直接日光が当たらないよう配慮してください。
- 強く擦ったり拭いたりしないでください。縫目に塵や埃が入り込み、付着汚れの原因となります。また、布地の磨耗や色落ちの原因となります。
- 濡らしたり、濡れた衣服などで腰掛けたりしないでください。色落ちやカビの発生原因となります。
- カバーリング対応の布カバーや置きクッション類は、タグに記載されている洗濯表示マークに従って適切にお洗濯してください。
- 市販の除菌剤・消臭スプレーなどの使用は素材により、張地が変色したりシミになる恐れがあります。市販品に記載の使用方法や注意事項を十分にご確認ください。

日常のお手入れ

- 洋服ブラシなどで表面を軽く叩き、やわらかなブラシを付けた掃除機を「弱」設定にし、やさしく埃などを吸い取ってください。

汚れてしまったら

- 飲み物などをこぼしたときは、乾いた布などですばやく吸い取ってください。
- シミなどが付いてしまった場合は、ぬるま湯におしゃれ着用中性洗剤を溶かし(30~40度のお湯200ccに洗剤小さじ1くらい)、そこに布を浸して固く絞り、汚れを叩くように拭き取ります。その後、ぬるま湯に浸してしっかり絞った布で洗剤をよく拭き取り、最後に乾いた布でまわりを吸い取るように乾拭きしてください。布はやわらかい綿や吸水性のよいマイクロファイバーなどをおすすめします。
- 市販のクリーナーをご使用の場合は、あらかじめ目立たない部分で試してからご使用ください。布の組成や編み方により適否があります。布の組成については製品に添付の品質表示カードをご覧ください。



5 パールトーン®加工（撥水・防汚加工） されたファブリック

お客さまのご要望により、ファブリックにパールトーン加工を施すことができます。パールトーン加工されたファブリックは、撥水・防汚性能を維持するために「お取り扱い上のご注意」内容が変わります。また、パールトーン加工だけで完璧に汚れを防止することはできません。汚れは、早期発見・早期対処が基本です。汚れを放置すると時間経過とともに汚れが固定化し、生地が変色するおそれがあります。

※パールトーン®は(株)パールトーンの登録商標です。

お取り扱い上のご注意

- 水洗い、ドライクリーニングはできません。パールトーン加工の撥水効果が減退します。
- 中性洗剤や消臭スプレー、アルコール消毒液などは撥水効果を減退させるため使用しないでください。
- 血液や毛染剤、乳化した高温の液体、高温の油性の液体には撥水・防汚効果がありません。
- 赤ワイン・オレンジジュースなど果汁を含む液体は、初期の効果はありますがそのまま放置すると汚れや色素が固定化し、生地が染まる場合がありますのでご注意ください。
- 粘度の高いものや、全体的な手垢などを完全に防止することはできません。

汚れてしまったら

- 乾いたタオルで、擦らないように汚れを吸い取ります。続いて、残った汚れに水をかけ汚れを浮かび上げらせ、再び乾いたタオルで汚れを吸い取ります。その後十分に乾かしてからご使用ください。



濡れたタオルなどで強く拭いたり、擦ったりしないでください。繊維の中に水分や汚れが入ってしまいます。

6 クッション

お取り扱い上のご注意

- ときどき向きを変え、同じ部分だけを使用しないようにしてください。長期間同じ部分だけを使用すると、カバー生地の部分劣化やクッション材が片寄ることがあります。

日常のお手入れ

- ご使用後はクッション全体を軽くもみほぐし、空気を含ませるように形を整えてください。布・革が皺になりにくく、クッション性が維持できます。

汚れてしまったら

- ファブリックのクッションカバーは、ファスナーの内側に「洗濯表示タグ」が縫い付けてあります。お洗濯の際は、その洗濯表示マークをご確認ください。
- 飲み物などをこぼしたときは、乾いた布などですみやかに吸い取ってください。
- シミなどが付いてしまった場合は、ぬるま湯におしゃれ着用中性洗剤を溶かし（30～40度のお湯200ccに洗剤小さじ1くらい）、そこに布を浸して固く絞り、汚れを叩くように拭き取ります。その後、ぬるま湯に浸してしっかり絞った布で洗剤をよく拭き取り、最後に乾いた布でまわりを吸い取るように乾拭きしてください。布はやわらかい綿や吸水性のよいマイクロファイバーなどをおすすめします。
- 市販のクリーナーをご使用の場合は、あらかじめ目立たない部分で試してからご使用ください。布の組成や編み方により適否があります。
- レザーのクッションカバーは、レザーコレクションのお手入れ方法（P.20）に準じてください。

7 プラスチック（アクリル樹脂・ABS樹脂）

お取り扱い上のご注意

- 暖房器具の前など直接熱を帯びるところには置かないでください。変色や変形の原因となります。
- 絶対にシンナーやベンジン、アルカリ洗剤などの溶剤を含むもので拭かないでください。溶解や膨潤、白化やひび割れを起こします。
- ホコリが付着したまま乾拭きをしないでください。傷の原因となります。
- メラミンスポンジを使用しないでください。傷の原因となります。

日常のお手入れ

- めるま湯にやわらかい布を浸し、固く絞ってからやさしく拭き上げてください。

汚れてしまったら

- 水だけで汚れが落ちない場合は、やわらかい布に十分に薄めた中性洗剤（1%）を含ませ、擦らずにやさしく拭き取ってください。
- 研磨剤入りの洗剤は、傷につながりますので絶対に使用しないでください。
- 消毒用アルコール（イソプロピルアルコール・エタノールなど）をご使用の場合は、やわらかい布に湿らせて、拭き取ってください。

8メラミン

お取り扱い上のご注意

- メラミン天板の上や端部に硬いものを落としたり、ぶつけたりしないでください。割れたり欠けたりすることがあります。
- 熱した鍋ややかんを、メラミン天板上に直接置かないでください。メラミン化粧板は熱に強い素材ですが、接着している木部との剥離や変形のおそれがあります。直接熱が伝わらないように、必ず鍋敷きなどを使用してください。
- 皿や陶器などの裏面の粗いものを、メラミン天板の上で滑らせないでください。すり傷の原因となります。

日常のお手入れ

- やわらかい布などで水拭きしてください。水拭き後は乾いた布で水分を拭き取ってください。

汚れてしまったら

- やわらかい布に中性洗剤をつけて拭き取った後、水拭きしてください。水拭き後は乾いた布で水分を拭き取ってください。
- 研磨剤入りの洗剤、ナイロンたわしやスチールウールは、傷につながりますので絶対に使用しないでください。

9 リノリウム

お取り扱い上のご注意

- リノリウムは、亜麻仁油などの天然の原材料からつくられた素材です。マットでやわらかい独特の質感と表情を持っていますが、自然素材ですので色調や表面の仕上がりにはバラつきがあります。また、使用中に色調が変化する場合があります。
- リノリウムの上に直接熱いものや濡れたものを置かないでください。劣化や退色・変色の原因となります。リノリウムに直接熱や水分が伝わらないように、鍋敷きやコースター、ランチョンマットなどをお使いください。
- 鋭利なものや硬いもので擦らないでください。表面にすり傷ができ、破損することがあります。
- アルカリ性洗剤は使用しないでください。変色や表面劣化の原因となります。

日常のお手入れ

- やわらかい布で軽く乾拭きしてください。

汚れてしまったら

- 飲み物などをこぼした際は、すぐに拭き取ってください。
- やわらかい布に中性洗剤をつけて拭き取った後、水拭きしてください。水拭き後は、必ず乾いた布で水分を残さないように乾拭きしてください。

10 大理石

お取り扱い上のご注意

- 水などで濡れたまま放置しないでください。石表面に撥水加工を施していますが、水分を含むと大理石特有のすき間や柄の境目などから水分がしみ込み、シミや剥離、割れの原因となります。直接水分が伝わらないように、コースター、ランチョンマットなどをお使いください。
- 衝撃を与えないでください。大理石が割れることがあります。
- 天板に直接熱いものを置かないでください。急激な温度変化により、大理石が割れることがあります。直接熱が伝わらないように、鍋敷きなどをお使いください。
- 大理石は酸に弱い性質があります。酸性洗剤やカビ取り剤などは使用しないでください。

日常のお手入れ

- やわらかい布でやさしく乾拭きしてください。

汚れてしまったら

- 中性洗剤を薄めたぬるま湯にやわらかい布を浸し、固く絞ってからやさしく拭き上げてください。続いて中性洗剤を残さないように水拭きし、最後に水分を残さないように乾拭きしてください。

株式会社 カンディハウス

079-8509 北海道旭川市永山北2条6丁目

Tel 0166・47・1188

Fax 0166・47・1679

Conde House Co., Ltd.

2-6 Nagayama Kita Asahikawa-shi
Hokkaido 079-8509 Japan

Mail support@condehouse.co.jp

www.condehouse.co.jp